

# 市政報告 9月定例会

(9月18日～10月17日)

神倉通信 10月号

「努力した人が報われる社会に」

29歳がやります! 子供たちのため

## 神倉ひろあき

かみくら ひろあき



- 本年8月の市議員選挙において、皆様のご支援をいただき、市議員としての第一歩を踏み出すことが出来ました。ほんとうに、ありがとうございました。議員として、全力で、職務を全うしてまいります。
- さっそくですが、初めての議会(9月定例会)の報告をいたします。  
新人ではありましたが、一般質問をさせていただきましたので、この概要を、お知らせ致します。

### ● 神倉ひろあき の一般質問。

・この度の選挙で、私は、1.安心・安全の街づくり、2.やさしい街づくり、3.健康な街づくり、の3つの大柱を掲げ、それぞれに、3つの子柱を立て、政策として市民の皆様へ訴えてきました。この中から2つの質問をいたしました。

#### 1. 安心・安全の街づくりについて

##### ①. 子ども達の安心・安全に係る各種の会について

**問** : 子ども達の安心・安全に係る会は、幾つあり、構成メンバーはどうか、どの会が中心となり推進しどのように各会と結びつき、どのように運営されているのか、各会は常置か、臨時か、月何回開催されているのか、こうした組織図や決定事項を保護者や市民にどのように周知徹底しているのか。

**答** : 子ども達の安全・安心に係る会は、地区により構成に多少の違いはあるが、秦野市内13小学校をトータルすると、およそ40団体、約2,000名ほどの方々が、子ども達の登下校時を見守っている。  
・活動例として、広畑小学校の安全・安心に係る会は、常設の3団体、約500名で構成されている。  
活動は、月曜を中心に週2～3回下校時の見守り。学校からの通知文・自治会の回覧板等で周知する。  
・南が丘小学校では、登下校時に、「豊かな心を育む協議会」を母体に教職員、保護者、地域の方々、南が丘高校の生徒等の協力を得て、安全見守り活動を実施している。構成メンバーは、100名超である。  
・南が丘おやじの会では、「ひとりはきけん」という立て看板を公園等に立てたり、地域に協力依頼し、子ども達の登校する8時と、下校する3時に買物や散歩などを意識的におこなっていただく。  
更に、年間2回の夜間パトロールを実施。8月に5日間、12月に3日間、20時より地区パトロールを実施。  
・大根・鶴巻中学校区では、小学校低学年の下校時刻に市の教育総務部が下校時安全パトロールを実施スピーカー付の公用車で啓発テープを放送しながら通学路周辺を巡回している。  
・その他、小学校低学年の下校時刻を目安に各消防署の前で署員が子どもの安全見守り活動を実施。

##### ②. 学校安全ボランティアの組織化について

**問** : 子ども達を多くの大人の目で確実に見守る、学校・家庭・地域の実践例として、市の全ての園や学校に文部科学省の事業である「学校安全ボランティア」の組織化を、お願いしたいがいかがか。また、組織化されているとすれば、具体的な取り組みを伺いたい。

**答**：本年度、文部科学省の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の委託を受け、西中学校区をモデル地域に指定し、子どもを育む協議会の協力を得ながら「学校安全ボランティア」を組織化し事業展開している。具体的に、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備するということで、地域のボランティアの活用や警察官OBがリーダーとなって、西地区の幼稚園・小学校・中学校へ定期的に巡回指導する等、地域ぐるみで子どもの安全確保につとめている。来年度以降、成果と課題を検討し他地区への組織化を考えて行く。

- ・具体的な取り組みとして、西小学校では、「下校時安全ボランティア隊」が50名、不定期で下校時の見守り。「おやどり会」が30名、毎週金曜日と第1,3月曜日、第3水曜日に下校時の見守り。「PTA 学年・学級委員会、校外財務委員会」が月1回実施日は月によって異なるが、下校時を見守る。
- ・堀川小学校では、「自治会・育成部会」が20名、毎日、自宅周辺で登下校を見守る。「民生児童委員会」が月2回下校時。「PTA 安全パトロール」が50名で、月1回、20日前後に下校時に見守る。
- ・上小学校では、「上地区パトロール隊」が、20名、毎日登下校時。「PTA パトロール隊」が、90名で毎日登下校時を見守る。その他、区内の危険ポイント、不審者発生ポイント、子ども110番の家等を地区安全マップに加筆し、地区の各園、学校に配布し、地域の方々に周知している。

## 2. 高齢者の健康づくりについて…(高齢者とは、65歳以上の方)

### ①. 介護予防のあり方について

**問**：高齢者が、生き生きと暮らせるよう、生活習慣病の予防や介護予防など、高齢者の健康づくりに積極的に取り組む必要がある。例えば、茨城県の旧大洋村は、筑波大学との共同プロジェクトで、筋肉トレーニングを中心とする介護予防プログラムを作成し、高齢者の健康と医療費の削減に大きな効果を上げている。本市の介護予防についての見解はいかがか。

**答**：本年4月より、要介護状態になる可能性の高い、高齢者を対象とした介護予防教室や専門職による訪問支援をおこなうこととした。この特徴は、保健師、看護師、健康運動指導士、栄養士、歯科衛生士等を非常勤により配置し市内5ヶ所ある地域高齢者支援センターと連携し、高齢者宅を訪問し、幅広い角度から丁寧な取り組みを行っている。

- ・市が行う介護予防教室等で、転倒予防体操や音楽に合わせて行う体操等、身体を動かす様々なプログラムを行っている。
- ・市民活動団体との協働事業の展開として、市内8ヶ所で介護予防につながる体操やウォーキングを定期的実施している。その他、介護予防のボランティア等の人材育成も強化している。また、地域高齢者支援センターや社会福祉協議会に介護予防講座やボランティアの養成を委託している。
- ・神倉からの… **要望** さまざまな取り組みを、広く市民に周知する方法を検討し、多くの高齢者が参加できる工夫を検討していただきたい。

### ②. 市の運動施設の高齢者の積極的活用について

**問**：高齢者の健康維持と医療費抑制の観点から、高齢者の運動施設使用料を減額してはいかがか。

**答**：おおね公園温水プールは、8月以外、市内70歳以上の方に、450円を250円に減額している。

・施設の機器を利用した筋肉トレーニングが高齢者の健康増進・維持に有効であるとの実績も聞いている。高齢者の健康づくりに、社会基盤や環境づくりが重要であると認識しているので、関係部署と調整を図りながら検討したい。

- ・神倉からの… **要望** 高齢者の健康維持が毎年ように声高になっている。おおね公園温水プールの、70歳以上の方の利用は、日に平均：4名弱と、極めて少ない。また、高齢者の転倒予防には、筋肉トレーニングが有効であるという結果も出ているので、市の運動施設の高齢者の使用料を是非減額して頂きたい。

●なお、私の一般質問は、秦野市議会 HP で動画配信しておりますので、ご覧頂ければ幸いです。

● 今後共、神倉ひろあき は、一市民として、いま何が問題で、どんな課題があるのか、それをどう解決するのか、という問題意識を常に持ち、秦野市が、住みやすい街になるよう努力してまいります。

●ご意見・ご感想大募集…神倉ひろあきに対するご意見なんでもどしどしお寄せ下さい。

〒259-1322 秦野市渋沢 2-5-13 TEL & FAX 0463.88.3655 携帯：090-3533-8034

Eメール [kamikura5@yahoo.co.jp](mailto:kamikura5@yahoo.co.jp)

神倉通信 10月号 「討議資料」発行元/「秦野の子どもを守る会」

子ども達の安心・安全を確かなものにすると共に  
高齢者の健康づくりに積極的取り組みを

1. 安心・安全の街づくりについて

**問** ①. 子ども達の安心・安全に係る会は、幾つあり、構成メンバーはどうか、どの会が中心となり推進しどのように各会と結びつき、どのように運営されているのか、各会は常置か、臨時か、月何回開催されているのか、こうした組織図や決定事項を保護者や市民にどのように周知徹底しているのか。

②. 子ども達を多くの大人の目で確実に見守る、学校・家庭・地域の実践例として、全ての市の園や学校に文部科学省の事業である「学校安全ボランティア」の組織化を、お願いしたいがいかがか。

**答** ①. 子ども達の安全・安心に係る会は、地区により構成に多少の違いはあるが、秦野市内13小学校をトータルすると、およそ40団体、約2,000名ほどの方々が、子ども達の登下校時の見守っている。

・活動例として、広畑小学校の安全・安心に係る会は、常設の3団体、約500名で構成されている。活動は、月曜を中心に週2~3回下校時の見守り。学校からの通知文・自治会の回覧板等で周知する。

②. 本年度、文部科学省の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の委託を受け、西中学校区をモデル地域に指定し、子どもを育む協議会の協力を得ながら「学校安全ボランティア」を組織化し事業展開している。来年度以降、成果と課題を検討し他地区への組織化を考えて行く。

2. 高齢者の健康づくりについて

**問** ①. 高齢者が、生き生きと暮らせるよう、生活習慣病の予防や介護予防など、高齢者の健康づくりに積極的に取り組む必要がある。筋肉トレーニングを中心とする介護予防プログラムを作成し、高齢者の健康と医療費の削減に大きな効果を上げている他市もある。本市の介護予防についての見解はいかがか。

②. 高齢者の健康維持と医療費抑制のため、高齢者の運動施設使用料を減額してはいかがか。

**答** ①. 本年4月より、要介護状態になる可能性の高い、高齢者を対象とした介護予防教室や専門職による訪問支援をおこなうこととした。この特徴は、保健師、看護師、健康運動指導士、栄養士、歯科衛生士等を非常勤により配置し市内5ヶ所ある地域高齢者支援センターと連携し、高齢者宅を訪問し、幅広い角度から丁寧な取り組みを行っている。

②. おおね公園温水プールは、8月以外、市内70歳以上の方に、450円を250円に減額している。

・施設の機器を利用した筋肉トレーニングが高齢者の健康増進・維持に有効であるとの実績も聞いている。高齢者の健康づくりに、社会基盤や環境づくりが重要であると認識しているので、関係部署と調整を図りながら検討したい。